第８回 苗木文化交流まつり盛大に開催!!

今年で第８回目となる苗木文化交流まつりが、去る２月 17 日、18 日の二日間開催されました。

一日目は、作品展示と体験コーナー。体験コーナーでは、折り紙、ブックコート、バルーンアート、読み聞かせ、木育コーナー、缶バッジなど子どもたちも参加できる企画がいっぱいでした。

二日目は、作品展示、ステージ発表でした。また、両日くじ引き大会もあり、参加された皆さんで大盛り上がりでした。

まつりは、まち協、区友会、ボランティアのスタッフさんたちによって準備から片付けまで頑張っていただきました。皆さんありがとうございました。

「雑がみリサイクルスタンプカード継続」…ごみ袋（大）から（中）に変更

令和３年11月から区長会と連携し取り組んでいる「雑がみリサイクルでごみ減量作戦」で配布しているごみ袋購入に、廃食油回収の収入金を充てることになりました。

これまではスタンプカードがたまると、ごみ袋（大）と交換していましたが、利用促進のため、ごみ袋（中）に変更します。

今後も一人ひとりがごみ減量に取り組みましょう。

中津川市出身の歌手 遠山洋子さんが苗木城を歌います

中津川市出身の歌手“遠山洋子さん”が、苗木城をモチーフにした曲で４年ぶりに再スタートを切りました。曲は「赤壁城の夢址」で、苗木城のイメージが生き生きと思い描かれるものになっています。みなさんもぜひ一度お聴きくださいね。

苗木城を歩く シリーズ40

風吹門（かざふきもん）と干草蔵・縄蔵

風吹門跡と大石を利用した石垣

風吹門・干草蔵・縄蔵
（苗木遠山史料館苗木城跡模型）

苗木城絵図 享保３(1718) 年頃･･･大手門と記入あり

苗木城下からの内曲輪（うちぐるわ）の入口の門を風吹門と呼んでいる。遠山家の苗木城絵図の中には大手門とも書かれているので、この門が苗木城への正門であったことがわかる。

この門からは他所者は入れず、城主在城の節は開門し、江戸留守中は閉ざされ潜（くぐ）り戸を利用した。城に向かって右側に門番所が置かれ、ここに中間（ちゅうげん）１人が昼夜交替で出入りの者を改めた。この門は２層になっており、２階は飼葉蔵（かいば）（飼葉とは牛馬の飼料の落葉など）となっていた。

風吹門の左側には大きな自然石があり、これらの石を利用し更に石垣を築き、その上に干草蔵そして縄蔵の建物が北に連なり、やがて大矢倉へと延びていた。

風吹門は、明治４(1871)年に城が取り壊された時、大泉寺(市内北野)の庫裡（くり）の門として売却され、平成8(1996)年に庫裡を改築したのを契機に苗木遠山史料館に寄託されました。

当時の風吹門
（苗木遠山史料館展示中）